

令和 5 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

□令和 5 年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

今年度は、明知鉄道沿線地域公共交通計画（平成 31 年度～令和 8 年度）に基づく取り組みが 5 年目となります。本計画の目標達成に向けた事業は、昨年度の取組み評価から得た課題と対応を踏まえて、引き続き明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを構築していきます。

明知鉄道については、老朽化した鉄道施設の取替改良・更新を行い、地域の公共交通手段として安全安定輸送を確保しつつ、収益を確保することで安定的な経営基盤の確立を目指します。

バス運行については、路線再編により誰もが利用しやすい新たな移動サービスを提供するとともに、公共交通の利用を喚起するため、利用促進の充実を図り、便利な暮らしの実現を目指します。

事業内容は、主に次のとおりとします。地域全体で守り育てる意識を持ってもらうよう地域、事業者、行政が協働して取り組んでいきます。

(1) 会議

会議名	主な内容(予定)
第 1 回協議会 (令和 5 年 5 月 25 日)	1. 令和 4 年度事業報告並びに収支決算報告について 2. 令和 5 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 3. 令和 6 年度生活交通確保維持改善計画について (地域内フィーダー系統確保維持計画を含む) 4. 明知鉄道生活交通改善事業計画について
第 2 回協議会 (令和 5 年 12 月予定)	1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について (陸上交通における地域内フィーダー系統) 2. 令和 6 年度活動方針(案)について

(2) 取り組み事業の一覧

目標	施策	事業
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1.観光列車やイベントでの市民による活動
		2.地域イベントと連携した公共交通の活用
	2.公共交通を「支える」市民の活動促進	3.SLの復元を通じた地域づくり
		4.待合時間を有効活用できる結節点
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.明知鉄道が有するさまざまな価値の発信
		2.沿線環境の整備
		3.収入源の拡大
	2.快適な公共交通利用環境の整備	4.モビリティマネジメントの推進
		1.恵那駅周辺での循環線の新設
		2.バス路線の見直し
	3.関係者との連携強化	3.明知鉄道の1時間1本化
		1.施設の更新
		2.P&R、サイクルトレインの推進
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1.当地域に適したMaaSの実現	3.鉄道・バス共通1日乗車券の発売
		1.恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進
		2.隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実
		1.運賃のキャッシュレス化
		2.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」
		3.日帰り旅コースの設置・運用
	2.バリアフリー化を通じたサービスアップ(現状維持から発展へ)	4.定額制乗り放題運賃・年間パスポート
		5.モードを跨いだ運賃設定
		6.移動データの取得
	3.観光列車の推進	1.駅舎などのバリアフリー化
		2.ボランティア車掌の創設
		3.外国語案内・バス系統番号の表示
		1.観光列車と広報・周知の充実
		2.観光列車やイベントでの市民による活動(再掲)

(3) 重点的に取り組む事業

①モビリティマネジメントの推進〔1-2-4〕中津川市・恵那市

バス利用促進イベントや運転免許証返納の促進、医療・福祉との連携など、多様な方法で公共交通の利用へつなげる取り組みを行う。

- ・利用促進に向けた啓発（5/27 まちなか市、6/4 健康フェスタ、その他）恵那市
- ・乗り方冊子作成・全戸配布、乗り方教室 恵那市
- ・シンポジウム開催



②施設の更新〔2-2-1〕明知鉄道・中津川市・恵那市

鉄道施設及びバス車両において、国・県の補助を活用しながら、施設等の更新を進めていく。詳細は、恵那市地域内フィーダー系統確保維持計画（資料3）及び明知鉄道生活交通改善事業計画（資料4）を参照

③交通コンシェルジュ事業〔3-1-2〕恵那市

人又はWebにより、行先の検索、予約、支払等の移動に対する困りごとに親身に対応する仕組みを拡充し、交通弱者又は来訪者が抵抗なく自然に移動できる環境を充実させる。

- ・移動データの取得及び活用（明知鉄道）
- ・ポータルサイトの拡充
- ・高齢者の利用支援
- ・バス停QRコードの設置及び活用



④モードを跨いだ運賃設定〔3-1-5〕

昨年度に引き続き、交通事業者間において、運賃や配分方式についての検討を行うこととする。

- ・内容
 - イ 定額制乗り放題運賃と年間パスポート
 - （定額制）ある1日を一定金額で地域内の公共交通が乗り放題
 - （年間パス）年間で乗り放題
 - ロ 鉄道とバス運賃の統合
 - 交通事業者を跨いだ運賃の統合 運賃に関する乗継時の不便解消
- ・イメージ図



□令和5年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会収支予算書（案）

【収入の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R5-R4)	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,000,000	3,000,000	0	恵那市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	国
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	2,733,894	2,828,604	▲94,710	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	106	396	▲290	預金利息
合 計			5,734,000	5,829,000	▲95,000	

【支出の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R5-R4)	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	60,000	60,000	0	協議会開催経費
	2 事務費	1 事務費	50,000	50,000	0	消耗品費、役務費、印刷費など
2 事業費	1 事業費	1 事業費	5,524,000	5,619,000	▲95,000	新事業 PR、シンポジウム、フォローアップ調査、利用促進（バス時刻路線マップ作成等）、乗り方教室
3 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	100,000	0	
合 計			5,734,000	5,829,000	▲95,000	